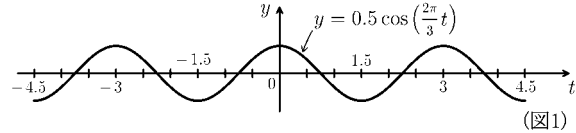


< 一般の周期関数 2 >

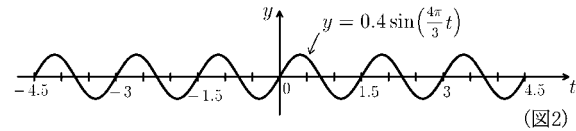
前ページの結果より

$$\sin\left(\frac{2n\pi}{L}t\right), \cos\left(\frac{2n\pi}{L}t\right)$$

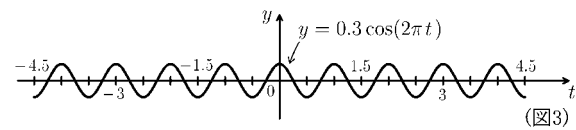
は基本周期が $\frac{L}{n}$ (n 倍周期が L) の周期関数である。



例 (1) $y = 0.5 \cos\left(\frac{2\pi}{3}t\right)$ は周期 3 の周期関数である (図 1)。



(2) $y = 0.4 \sin\left(\frac{4\pi}{3}t\right)$ は周期 $\frac{3}{2} = 1.5$ の周期関数である (図 2)。

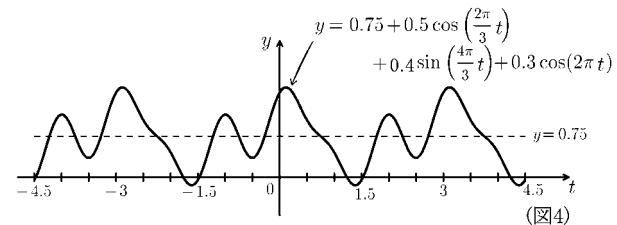


(3) $y = 0.3 \cos(2\pi t)$ は周期 1 の周期関数である (図 3)。

(4) 上の (1)~(3) の関数と $y = 0.75$ を加えた和の関数

$$y = 0.75 + 0.5 \cos\left(\frac{2\pi}{3}t\right) + 0.4 \sin\left(\frac{4\pi}{3}t\right) + 0.3 \cos(2\pi t)$$

は周期 3 の周期関数である (図 4)。



(2) の関数は基本周期が $\frac{3}{2}$ であるが倍周期が 3 である。(3) の関数も基本周期が 1 であるが 3 倍周期は 3 である。

(5) 一般に定数 $a_0, a_1, \dots, a_n, b_1, \dots, b_n$ に対し

$$y = a_0 + a_1 \cos\left(\frac{2\pi}{3}t\right) + b_1 \sin\left(\frac{2\pi}{3}t\right) + a_2 \cos\left(\frac{4\pi}{3}t\right) + b_2 \sin\left(\frac{4\pi}{3}t\right) + \dots$$

$$\dots + a_n \cos\left(\frac{2n\pi}{3}t\right) + b_n \sin\left(\frac{2n\pi}{3}t\right)$$

は周期 3 の周期関数である。

問 次の関数の周期を求めよ。

(1) $y = a_0 + \sum_{k=1}^n \left\{ a_k \cos\left(\frac{2k\pi}{5}t\right) + b_k \sin\left(\frac{2k\pi}{5}t\right) \right\}$

(2) $y = a_0 + \sum_{k=1}^n \left\{ a_k \cos\left(\frac{2k\pi}{L}t\right) + b_k \sin\left(\frac{2k\pi}{L}t\right) \right\}$

(3) $y = a_0 + \sum_{k=1}^n \left\{ a_k \cos\left(\frac{k\pi}{l}t\right) + b_k \sin\left(\frac{k\pi}{l}t\right) \right\}$